

研修・相談会のご案内

身近な地域で活動してみたい方、困りごとを相談したい方へ



令和7年度

地域なんでも相談員養成研修 受講者募集中！

地域なんでも相談員とは、ちょっと気になること・心配事を地域福祉コーディネーター※やわがまちにつなぎ、課題を共有し、解決に向けて一緒に考えていく役割を担っています。

日時	内容
9月6日(土) 10:00~15:00 ※昼休憩含む	①地域なんでも相談員の役割 相談員としての気づきのポイント他 ②傾聴講座(講師:日本産業カウンセラー協会)
9月20日(土) 10:00~12:00	③一人の困りごとから、地域での支えあいを考える
9月~10月 わがまち定例会参加	④地域の「わがまち支えあい協議会」への参加
10月25日(土) 10:00~12:00	⑤地域なんでも相談員登録説明 ※①~④を受講した方のみ

●場 所 ふれあい会館3階会議室(府中市府中町1丁目30番地)

●対 象 ボランティア活動や地域活動をされている方、またはこれから活動をしたいとお考えの方、府中市内に居住・在勤・在学の方

●定 員 先着40名 ※事前参加申込み制

●申込み 二次元コードの参加申込みフォームからお願いします。
社会福祉協議会へお電話でご連絡いただくかFAX・メールでも受付しています。

地域なんでも相談員養成研修
参加申込みフォーム ▶▶▶



電話・FAX・メールでのお申込みは下記から
TEL: 042-364-5382 FAX: 042-362-9090
メール: fuwari@fsyakyo.or.jp
※FAX・メールの際は、研修名、氏名、住所、連絡先をご記載ください。



暮らしの困りごと相談会

会 場	曜 日	時 間
武蔵台文化センター	月・火・金	9:30~16:00
新町文化センター	月・水・木	
住吉文化センター	月・木・金	
紅葉丘文化センター	月・水・金	
是政文化センター	火・木・金	
押立文化センター	月・火・木	9:15~11:45
四谷文化センター	火・水・木	
中央文化センター	月	9:15~11:45
白糸台文化センター	水	13:30~16:00
西府文化センター	木	9:15~11:45
片町文化センター	木	

※祝日と、文化センター休館日はお休みです。
その他時間や曜日は変更になる場合があります。

地域での不安なことや、相談にのってもらいたいことを地域福祉コーディネーター※がお話をお聴きし、解決に向けて一緒に考えます。お気軽にお立ち寄りください。



※地域福祉コーディネーターとは？

困りごとを抱えている方に寄り添い、解決に向けて一緒に考えます。また、地域の住民が困りごとを地域全体の課題として捉え、解決できるような「ささえあい」のしくみづくりをお手伝いしています。

<https://www.fsyakyo.or.jp/>

受付時間: 月~土曜日(祝日・臨時休館日を除く)
午前8時30分~午後5時15分

ホームページへ



ふわり
社協マスコットキャラクター

明日からできる地域活動情報紙 /

Connect ふちゅう

発行: 社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2025
August

Vol. 09
Take Free

「あったらいいな」をみんなの力でカタチに わがまち支えあい協議会



活動インタビュー① Activity interview

私がわがまちに参加したきっかけ

飛澤さん



社会福祉協議会(以下社協)との関わりが始まったのは、退職して時間に余裕ができた頃でした。ちょうどそのタイミングで、社協が募集していた「権利擁護生活支援員」という役割に応募したのが最初のきっかけです。正直に言うと、そのときは社協が具体的にどんな活動をしている団体なのか、あまりよく分かっていませんでした(笑)。ただ、何か新しいことに関わってみたい、自分の居場所をつくりたいという思いがあって、「わがまち支えあい協議会」の説明会にも参加してみたいです。それまで地域活動には特に関心があったわけではないのですが、説明会を通じて活動の意義や楽しさを知ることができ、気がつけば継続して関わるようになりました。

活動インタビュー② Activity interview

わがまちのやりがいについて

国府田さん



自治会の副会長をしていた平成22年に社協の福祉協力員になったことを機に、「わがまち」の準備委員会から関わってきました。当初は個人で老人ホームにて貼り絵や朗読をしていましたが、「わがまち」での団体活動が始まると、活発な意見交換から考え方の違いに難しさを感じることもありました。それでも、子どもたちとの交流は楽しく、サロンで「あなたの話を聞きに来るのが楽しみ」と言われることに大きな喜びとやりがいを感じています。



活動インタビュー③ Activity interview

「ささえあい四谷」の今後に向けて思うこと

近藤さん



これまでの活動を振り返ると、メンバー一人ひとりの高い参加意欲が、活動を絶やすことなく継続できている大きな力になっていると感じています。これまで活動を支えてきたメンバーと共に、新しい感覚や視点を大切にしながら、柔軟で発展的な行動ができる組織であり続けたいです。参加されている皆さんの声に耳を傾け、新たなアイデアと行動力で活動の幅を広げ、常に変化と成長を続けていきたいと考えています。また、新たに参加される方々の声や想いにも丁寧な耳を傾けながら、常に新鮮で魅力的な活動を目指していきたいです。最終的には、四谷にお住まいの皆さんが「参加すると楽しい」「これからも参加し続けたい」と感じられるような、あたたかく支え合いのある「ささえあい四谷」を目指してまいります。

“わがまち”がつなぐ人と人、まちと未来 ～地域から広がる新しい支えあいのカたち～



暮らしの困りごとを地域で支えあいながら解決する新たなしくみとして、平成26年より市内11文化センターに1か所ずつ立ち上げることを目指し「わがまち支えあい協議会」（以後わがまち）の取り組みが始まりました。その始まりは、押立文化センター圏域（以後押立）。地域の声を丁寧に集めながら、モデル地区としてじっくり準備を重ねてきました。平成28年に立ち上がった押立に続き、四谷・住吉文化センター圏域でもわがまちが立ち上がり、それぞれの地域の特色を活かした活動が行われています。当初は、社協の重点事業として、地域の人達と一緒に立ち上げを進めてきましたが、その後は、地域の皆さんが主体となり運営を担う「地域の団体」へと発

展し、令和3年には、市内全域に広がりました。わがまちは、地域の中にある困りごとや課題を、地域の人たち自身が話し合い、力を合わせて活動に反映していく“地域発”のしくみです。「こんなことに困っている」「これならできそう」そんな声をきっかけに、地域ごとに話し合いの場を開き、アイデアを出し合って、それぞれのわがまちに合った活動を作り出しています。だからこそ、活動の内容もわがまちによってさまざま。地域の人たちの思いから生まれた活動が、少しずつ地域の中に広がっています。最近では、「わがまち」という言葉が地域の中で少しずつ知られるようになり、関わる人も増えてきています。一部ですが、実際に行っている活動を紹介いたします。



わがまちタウンミーティング



押立 モデル地区住民説明会



「わがまち」活動事例



おかえり広場

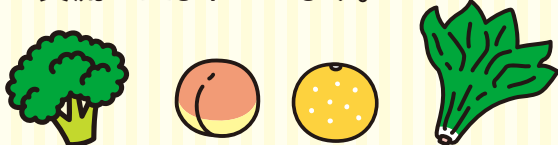


近隣の小学校に通う児童を対象に、公会堂を活用した見守り活動を行っています。放課後の居場所として、地域の大人と工作や遊びを楽しみながら、自然と多世代の交流も生まれ、安心して過ごせるまちづくりの一端を担っています。

菜々のつどい



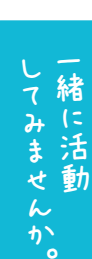
地域に顔の見える関係性を築くため、誰もが気軽に集えるサロンを開いています。ここでは、地域の野菜販売や健康体操、おしゃべりを通して、たくさんの交流が生まれています。



にこにこカフェ



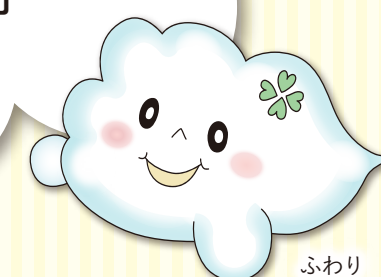
「自治会のない車返団地2街区で、気軽におしゃべりできる場がほしい」という声に応え、誰もが自由に集えるサロンが立ち上がりました。温かいお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだり、椅子に座ったままできる簡単なヨガで心と体をリフレッシュしたり。皆で和やかな時間を過ごし、交流の輪を広げています。



あなたの力、 地域で活かしてみませんか？



わがまち支えあい協議会の活動は、市内すべての文化センター圏域に広がっています。活動は、人と直接関わるものから裏方で支えるもの、趣味のように楽しめるものから事務的な作業まで、その内容はさまざまです。「誰かの役に立ちたい」「ちょっと地域に関わってみたい」そんな気持ちで、できることから始めてみませんか？



例えば、こんな関わり方があります！



フードパントリー品の仕分け作業



ホームページ作成



ポスティング活動



登下校の見守り



草取り



特技披露



簡単な掃除



粗大ゴミ運び

楽しく活動しています！

